

A、F、Cの各保険はP.71~72のA、F、Cに対応

新規に加入する保険

新規加入する生命保険

A 変額終身保険

死亡保障 200万円
月々の保険料 3138円
支払い総額 120万4992円

新規加入する定期保険

F 収入保障保険

死亡保障 月13万円×32年
月々の保険料 5317円
支払い総額 169万5096円

新規加入する医療保険

C 医療保険

入院日額 1万円
月々の保険料 6940円
支払い総額 258万1680円

もともと一生涯の死亡保障がなかったため、変額終身保険で200万円確保。金額は死亡整理金として欲しい最低レベルにする。

保険料が一生変わらない定期保険へ。夫死亡時に毎月一定額の保険金が、65歳まで受け取れる。非喫煙者なので保険料減。

15年更新型から終身医療へ。ガンを含むすべての病気で入院日額1万円が支払われる。入院1泊2日から通算1000日まで保障

もっと見直す！

現在加入している保険

昌之さんの生命保険

定期保険
死亡時保険金 2000万円
災害死亡保険金 500万円
保険期間 15年
月々の保険料 5210円
支払い総額 約300万円

昌之さんの介護保障保険

介護・特定疾病定期保険
保険期間 15年 保険金 300万円
保険料/月額 1350円
介護・長期生活保障保険
保険期間 15年 年金 180万円
月々の保険料 4338円
合計支払い総額 約330万円

昌之さんの医療・ガン保険

医療保険、ガン保険
日額 各5000円
保険期間 15年
月々の保険料 3767円
合計支払い総額 約320万円

支払い総額の合計 548万1768円

支払い総額の合計 約950万円

約950万円-548万1768円=約402万円のダイエット！



澤田家データ

夫・昌之さん33歳、妻・志おりさん33歳。長女・百葉ちゃん4歳。昌之さんは大手ゼネコン勤務で、年収650万円。志おりさんは専業主婦。賃貸住宅で3人暮らし。

澤田家の保険内容(保険料はすべて月額)

- 夫
定期保険 5210円 介護・長期生活保障保険 4338円 介護・特定疾病定期保険 1350円 医療保険 3397円 ガン保険 370円
- 子 学資保険 1万1940円
- その他
自動車保険 約4918円

保険料総合計3万1523円



現在の保険では老後保障がピンチ 介護保障にも意外な落とし穴が

いま話題の「アカウント型」と呼ばれる保険に加入している夫の昌之さん。この保険は、保険料の一部を積立て、保障を見直すときに、積立てられたお金を利用して、特約を買ったり、現金として引出したりすることができ、保険期間満了時には、積立てられたお金を利用して終身保険などを買って老後保障に備える仕組みだ。

「アカウント型は積立金を活用して自由に見直せるのがウリ。ただし、特約の多くが更新型で、更新時期に保険料が値上がりします」(宮越氏) 実際、昌之さんの特約もすべて15

年更新で、46歳の更新時に保険料がアップするのは確実。さらに、「更新時期の保険料値上がりや積立金で賄うことができるんですが、そうすると保険期間満了時に老後の必要保障が買えなくなる。個人的にアカウント型はオススメしていません」一方、昌之さんが特約としてつけている「介護保障」についても問題点を指摘する。

「実は介護状態の認定基準が非常に厳しいんです。一般に考えられる寝たきりでは保険金が出ない場合もあります」

見直しのプランは上のとおり。

昌之さんの必要死亡保障額は400万円と算出された。うち200万円は変額終身保険、残り38000万円は浜山家でも登場した収入保障保険でカバー。医療面は、ガンを含む病気をすべてを1泊2日から日額1万円保障される医療保険にシフトする。死亡・医療とも保険料が変わらない一生涯保障。65歳で保険料支払いが終わる、老後生活コストに保険料の負担はない。

結果、昌之さんの保険料月額が1万4655円↓1万5395円とアップするものの、支払い総額は約402万円のダウンとなる。